

## 高カボルト用ヘッドキャップ那覇空港で採用

2023/03/11 建通新聞（東京版） 352文字

共和ゴム（大阪府枚方市）は、同社のインフラ長寿命化対策・高カボルト用ヘッドキャップが那覇空港で採用されたことを発表した。

ボルトのさびの進行を防ぐもので、点検時に脱着できる点が特長。

無塗装、メッキ仕様、塗装と3タイプのボルトに対応可能。製品同士が連結しているため遅れ破壊（静的破壊）によるボルトの落下を防ぐ。

沖縄県は塩害が過酷な環境と言われている。「インフラメンテナンス国民会議沖縄フォーラム」で、架橋や横断歩道橋など県内のインフラ構造物が塩害でさびる速度は、県外太平洋沿岸部の約10倍、島根県など日本海側沿岸部の約5倍との調査結果が報告されている。

インフラ長寿命化について沖縄県など沿岸地域で多くの需要があると見込み、今後も拡販活動に注力する構えだ。

問い合わせは電話072（855）1039。

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報（以下「情報」）の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.